

## 令和6年度永山まちづくり実行委員会の予算と活動

(単位：円)

No	事業名 (実行委員会)	事業の実施状況(予定)	予算額	済：支出 予：支出予定 計：(済+予)	済 予 計	済 予 計	予算残
1	地域のオタスケマン事業 (地域のオタスケマン実行委員会)	・令和6年6月14日(金)永山西小学校3年生全員に、地域のオタスケマンとして町内会ボランティア活動・地域の見守り・安全活動・交通安全について講和をしました。 ・出席者は市民委員会会長、防犯部長、交通部長の3名です。	10,000	0 0 0	0 0 0	0 0 0	10,000
2	旭川市立大学の屯田まつり支援事業 (旭川市立大学の屯田まつり支援実行委員会)	(別紙「屯田まつりの旭川市立大学との連携について」も御覧ください。) 1事前学修について 令和6年7月18日(木)13:00~ ・今年度は、大学の教室での交流となった。 ・屯田まつりの歴史等について、実行委員長葛西さん(第三市民委員会会長)からご講話いただいた。 ・南西地区市民委員会の塩尻さんから、踊りのご指導をいただいた。 ・市民委員会の役員を中心に、学生との交流を深めることができた。 テーマ：永山に暮らして、屯田音頭の魅力とは、これからの永山について、自分が実感していることを、率直に交流しました。 2 屯田まつり舞踊パレード当日 令和6年7月28日(日) ・控え室を二部屋準備し、法被、鳴子の配布を行った。 ・学生が移動した後、部屋を施錠し荷物の管理を行った。 ・学生四グループの前に、市民委員会参加者を配置して、パレードに参加した。 ・終了後は、各控え室にて法被と鳴子の回収を行い、学生へのお茶と謝礼を職員に渡して配布してもらった。 ・屯田まつりを通じて、学生と地域の連携を深めることができ、良かったとの声があった。  *今年度は永山第2地区市民委員会役員会で、旭川市立大学との連携について協議し、協力を得ることができたので、事前学修、並びに舞踊パレードをスムーズに進めることができた。今後もこの取り組みを継続していくことで、市民委員会の活動と屯田まつりの活性化を目指して行きたい。(小学生等の参加も視野に入れて・・・)	10,000	0 0 0	0 0 0	0 0 0	10,000
3	まちづくりニュース作成事業 (まちづくりニュース作成実行委員会)	・各実行委員会が実施した事業をまとめたニュースを発行予定。	50,000	0 50,000 50,000	0 50,000 50,000	0 50,000 50,000	0
4	永山地区子どもの学習支援事業 (永山地区子どもの学習支援実行委員会)	音楽室で毎週月曜日、午後3時から5時まで、大学生を中心とするボランティアが、自主学習を行っている児童・生徒等の見守りを行うとともに、予習・復習、宿題の支援を行った。  【実績】 永山図書館休館日(4~11月) 27回, 129人(参加73人, 大学生56人)	30,000	30,000 0 30,000	30,000 0 30,000	30,000 0 30,000	0
5	スープの冷めない“きずな”づくり事業 (スープの冷めない“きずな”づくり実行委員会)	・第1回目 令和6年10月20日(日) 地域：第2永山団地 対象者：106名 他住民ボランティア(かよう会)16名, 学生ボランティア6名 ・第2回目 令和6年11月16日(土) 地域：永山3区第2町内会 対象者：130名 他地域住民ボランティア6名, 学生ボランティア13名 ・第3回目 令和7年2月8日(土) 地域：永山むつみ町内会 対象者：未定 2回実施した。参加者が多く第2回目に関しては、旭川市立大学福祉コミュニティ学科にも依頼した。旭川市立大学(コミュニティ学科)と短大(食物栄養科)との学内連携にも繋がった。アンケートでは「とてもおいしくて感激した」「出汁がきいていてコクがあった」と好評だった。2月は昨年行った地域を対象に開催する。昨年より食材費が高騰しているため、次回の開催の内容を検討する必要がある。	70,000	64,971 33,000 97,971	64,971 33,000 97,971	64,971 33,000 97,971	▲ 27,971

No	事業名 (実行委員会)	事業の実施状況(予定)	予算額	済:支出 予:支出予定 計:(済+予)	予算残
6	永山健康マイレージ事業 (永山健康マイレージ実行委員会)	2回会議を開催。永山健康マイレージチラシを作成し、スーパーと医院・歯科医院、各町内会館にチラシを配布。9月から、食生活改善推進員、地域住民、旭川市立短大と森山メモリアル病院の栄養士による調理実習と、歯科衛生士による口腔講話を実施(40名参加)。また、住民が歯科受診・10食品群チェック・歯みがき・口腔体操に取り組み、マイレージに応募していただいている。 今後は、旭川市立短大の学生が作成した栄養レシピを、イオン永山店の食料品売り場に商品と一緒に設置し、積極的に摂りたい栄養の周知を行う。1月には抽選会を行い、マイレージに参加・応募された方の中から抽選で協賛企業の賞品を配布予定。賞品配布時、再度口腔・栄養チェックを行い、評価とする。	70,000	済 予 計 53,925 16,075 70,000	0
7	永山南きづな・ほのぼのバザー事業 (永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会)	実行委員会にて打ち合わせを行い、令和6年9月20日にきづな・ほのぼのバザーの開催に至る。 当日は「鷹栖共生会(M r a i, 伝承館, ちこり等)」や「北かり」「男山」「明治安田生命」と連携し、各種販売や健康測定を行う。販売等は、認知症当事者や障がい者の方に担当してもらい、売り上げの一部をお給料として還元している。 赤い羽根共同募金の協力をお願いし、当日2万円以上の募金をいただいた。参加者おおよそ100名の来場と思われる。	50,000	済 予 計 49,519 0 49,519	481
8	永山南地域ボランティア養成事業 (永山南きづな連絡協議会)	以前から連携を取っていただいた永嶺高校アウトドア同好会の顧問と話し合いを進め、今年度も同好会所属の生徒より、除雪に困っている方に対して、除雪の支援を同好会の活動日に限られるが、実施していただく方向で了解を得ることができた。 同好会の範囲を超えて、地域の除雪支援を学校全体のような取り組みとして話が進められないかと、顧問と検討してみたが教員自体の業務量増加や取り組みに対する温度差、実施時の事故等へのリスクもあり、現段階では難しいという結論となった。	30,000	済 予 計 0 0 0	30,000
9	永山魅力発見隊事業 (永山魅力発見隊実行委員会)	・まだ知らない永山の魅力を見つけ、多くの人に知ってもらうことを目的に永山地区の4小学校(永山小・永山南小・永山西小・永山東小)の5~6年生を対象とした「永山魅力発見ツアー」を令和6年11月30日に実施。 ・参加者24人(永山小11人, 永山南小3人, 永山西小7人, 永山東小3人) ・学生ボランティア1人参加(旭川市立大学) ・旭川農業高校で4グループに分かれ、それぞれ「乳しぼり、バター作り」「サツマイモタルト調理」「木工工作」「ハーバリウム制作」を体験。各活動の企画や参加者への対応などは同高校生徒が中心となって行った。 ・当日はケーブルテレビポテトが取材を実施。12月6日に放送された。 ・1月に実行委員会を実施し、参加児童や保護者からのアンケート等をもとにツアーを通じて発見した永山の魅力発信を協議する。	64,000	済 予 計 36,991 27,009 64,000	0
		全実行委員会合計	384,000	済 予 計 235,406 126,084 361,490	22,510